

助成事業実施報告書

団体名 特定非営利活動法人パワーアップ支援室
代表者・役職名 氏名 代表理事 本館 淳

▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局で編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。語尾の表現は「です・ます」調をお願いします。報告書に掲載するため活動の内容がよくわかる写真(2枚程度。写真の肖像権問題がないものの提出をお願い致します)を添付して下さい。

1. 助成プロジェクト名

自助・互助・共助の普及推進による地域防災力の強化事業

2. 実施団体の概要(創設の経緯、創設時期=法人で、法人化前に任意団体での活動がある場合、その段階からご記入ください。会員数など。180文字程度まで)

2010年8月30日に、企業経営者・会社員・主婦・高齢者・年金受給者など、幅広い年代、様々な職業を生業とする有志が集い設立された法人です。(現在、正会員61名)

2011年3月11日に発災した東日本大震災以降は、県内または東北地方の被災地の復興支援、災害時における緊急支援、防災減災活動を軸に活動しています。

3. プロジェクトの目的とその背景(※応募申請書に記載のものでも可) 250文字程度まで

防災講座やワークショップ、防災ピクニックを通じて、地域や家庭における自然災害・防災減災に対する意識及び知識の向上と普及推進を図るとともに、自助・互助・共助を育てることで、変化・多発化・範囲の拡大化を続ける昨今の自然災害に対する地域防災力を高める事業です。

また、冊子の寄贈を通して、自然災害時における被害の拡大防止や昨年の台風10号災害の記憶の風化防止を図ることを目的としています。

4. プロジェクトの内容(※当初予定と変更がない場合は、応募申請書に記載のものでも可) 300文字程度まで

「自助と共助を育む活動(防災減災における普及推進)」

(1)自助の部

- ・基礎を学ぶ家庭防災講座。
- ・避難所開設等におけるワークショップ。
- ・防災グッズの紹介、手作り防災グッズの展示。

(2)共助の部

- ・自主防災組織の設立運営講座。
- ・防災減災に関するワークショップ。
- ・被災した住民による被災体験講演。

「互助を育む活動(親子を対象とした簡易的な防災ピクニック)」

- ・身近な物を活用した防災グッズづくり。
- ・昔の知恵を活かした防災食づくり、暖の取り方など、ライフラインに頼らない学び。
- ・被災した住民による被災体験講演。

「家庭防災における冊子の寄贈」

・宮古市川井地区の被災者(最も被害が大きかった順に 10 部まで。)

5. プロジェクトの実施で得られた「結果」(OUTPUT。実施回数や参加者数など)、「成果」(OUTCOME。事業によって生まれた直接的な変化)、「社会的な変化」(IMPACT。事業が社会に与えた影響)などの『効果』 300文字程度まで

結果 : 防災講座等 10 回実施。参加者のべ 63 名。

防災ピクニック 5 回実施。参加者のべ 16 組。

家庭防災における冊子の寄贈 20 冊。

成果 : 講座やピクニック等への参加者から自身の実体験の発信や、被災した住民の被災体験を聞くことにより、防災や減災を他人事ではなく、自身や家庭、地域といったより身近なところから防災対策を講じる発言等が出されました。

社会的変化: 個人や家庭での防災意識の向上が、地域における自助・互助・共助の強化へとつながり、さらには、震災や災害の風化防止や、防災キャンプに親子で参加することでの未来の命を守る防災力の向上にもつながりました。

6. プロジェクト実施にあたっての課題、今後の展望など 300文字まで

課題: 講座等へ参加したことで防災・減災への意識は高まるものの、意識の定着や継続は難しいことでもあるため、講座や防災キャンプの定期開催の継続や、複数回参加型の講座の開催が必要と感じました。

展望: 今回の講座や防災キャンプで学んだことを活かし、防災・減災への意識の定着やさらなる向上を目指した講座等の継続開催により、地域コミュニティにおける自助・互助・共助のさらなる強化を目指します。

また、自主防災組織の設立運営を支援するサポーターの養成講座の開催に向けた動きを取りたいと考えています。

7. 参考資料

支援対象プロジェクトで作成したチラシ、パンフレットやマスコミで紹介された記事等は現物またはコピー、活動状況の写真などを参考資料として提供してください。

参考資料あり・特になし

参考資料

助成プロジェクト名: 自助・互助・共助の普及推進による地域防災力の強化事業

団体名: 特定非営利活動法人パワーアップ支援室

「互助を育む活動(親子を対象とした簡易的な防災ピクニック)」



《地域の防災マップ作りのための散策》

- ・ 防災意識にとらわれない子供目線での散策に、大人では気が付けない危険箇所等の発見につながりました。

「防災グッズ等の紹介」



- ・ 100均でもそろえられる防災グッズの展示に、参加者も興味津々でした。